

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	建築指導課担当課長	近藤 裕二
都調-05 建築指導事務	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務	主管課	建築指導課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市街地整備	施策の方針
			市街地整備の推進

1 事業の目的

対象	建築確認申請者等
意図	建築物の安全の確保を図るため。
効果	安心して住める建築物の確保

2 平成27年度に実施した事業の概要

・建築確認申請等に関する事務及び建築基準法に基づく許認可等に関する業務を行った。 ・建築審査会に関する事務及び各種協議会等に関する業務を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	11,109	当初予算(千円)	11,405	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他	11,405	
	一般財源	11,109	一般財源	0	
事業経費運営	人員配置数	12.5	人員配置数	11.5	
	人件費(千円)	94,563	人件費(千円)	88,160	
	総事業費(千円)	105,672	総事業費(千円)	99,565	
	市民1人当りの経費(円)	596	市民1人当りの経費(円)	563	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 引続き、中間・完了検査についてのお知らせ文の配布等を行い、安全で安心して使用できる建築物の普及を図る。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・実施が義務付けられている法定受託事務のため、事業費の削減は非常に困難であることから、「なし」とした。 ・関連類似事業はない。 ・法に基づく許認可事務のため、事業は妥当である。ただし、処理対応については市民ニーズもあり、法定受託事務ではあるが、建築行政マネジメント計画を策定したことから、この計画に基づき、対応の徹底を図る。 ・中間・完了検査についてのお知らせ文を配布する等、検査率の向上は成果として挙げられる。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	建築行政マネジメント計画を策定し、建築確認審査の迅速化や違反建築物等への対策の徹底を図る。 引続き、中間・完了検査についてのお知らせ文を配布する等、検査率の更なる向上に努める。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	建築行政マネジメント計画を策定した。 完了検査率で目標率である80%を大幅に上回った。	☒ 解決 ☐ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	建築行政マネジメント計画を策定したため、この計画に基づいて、対応の徹底を図る。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	完了検査率					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
安全で安心して使用できる建築物の普及についての指標	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0			
	実績値	94.1	93.3							
	達成率	117.6%	116.6%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	制度の見直し等を行うことで市民の利便性の向上を図り、件数を確保して進めていく。									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---